キャラクター名	プレイヤー名
アレクサンドラ・ルキーニシュナ・トルスタヤ（サーシャ）	

ポジション	オートマトン	**享年**	14
メインクラス	レクイエム	**暗示**	罪人
サブクラス	レクイエム	**寵愛点**	132

初期配置	花園
最大行動値	12

能力値	クラス	修正	合計
武装	4	2	6
変異	0	0	2
改造	0	2	2

記憶のカケラ	内容
殺戮の天使	
動く死体	
裏切り	信じていたのに。あなたの心は無残にも踏みにじられた。その悔しさと喪失感が今もある。あるいはあなたの死にも、それはかかわっているのかもしれない。誰がどうして、あなたを裏切ったのか。それを思い出さなくては。
隊長	あなたには頼れる隊長がいた。二人きりか、それとも何かのチームだったのか。今はもう思い出せないけれど。あなたはその人がいたからこそ安心して戦場に向かえたのだ。
育て親	あなたは実の両親ではない人に育てられた。その人からどんな感情を向けられていたかはわからないけれど、あなたはその人をとても慕っていた。あなたにとって自分よりも大切だった人。いつだってその人のために生きてきた。しかしなぜだろう。その人を思い出そうとすると、怒りがわいてくるのだ。
罪と後悔	大切なものを傷つけた。それは本当に大切で、かけがえのないものだった。それなのになぜ、あなたはそれを傷つけたのだろう。今となっては理由さえ思い出せない。
最愛の義父	あなたの脳裏におぼろげに金髪の男性が思い浮かぶ。特徴的なのはその紫色の瞳。それはいつもあなたをやさしく見つめていた。しかし、暗殺の技を学び、天性の才能からかその技量が磨かれるといつしか養父を超えたころ、その瞳に怯えが混じったのを覚えている。今思えば、それからだんだん共に過ごす時間も減っていった気がする。しかし、養父に認められていたと実感できる時間はあなたの決して長くはない人生の中で間違いなく幸せな時間だった。たとえそれが他者の血と悲しみにまみれていようとも…。

未練				
対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの（紫水晶）	依存	3	①②③④⑤	大事な人との決別の証
ハヤテ（5）	執着	2	①②③④⑤	行動が全然読めなくていつもハラハラ……けど芯はある強い子だ
絵磨（8）	独占	1	①②③④⑤	あの人が私の傍にいてくれたように私も……いや、私がこの子の傍にいないといけない。
レティシア（13）	依存	2	①②③④⑤	私と同じくらいの子なのになんでだろう、この子の笑顔を見ているとあの人を思い出せる気がする。
隊長	期待	2	①②③④⑤	彼女がいればどんな困難も乗り越えられただろう……記憶にはないはずだが、何故だかそんな安心感を感じた
戦乙女	信頼	2	①②③④⑤	彼女は強い……私はそれを超えてみせる。これからは、彼女の隣で。

マニューバ							
タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		無茶		オート	1パーツ	自身	行動判定、攻撃判定、切断判定の振り直し
メインクラス		魔弾		オート	なし	自身	射撃Mの最大射程+1
メインクラス		死の手		ラピッド	0	自身	任意の射撃攻撃をラピッドで使用可
サブクラス		銃神		オート	なし	自身	射撃Mの判定の出目+1
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃１
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃１
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援１
腕		かた		アクション	4	自身	移動１
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害１
胴		救急箱		オート	0	0	戦闘終了時に他の姉妹の基本パーツを3つ修復
腕		2丁拳銃		アクション	3	0-1	射撃攻撃2+連撃1
腕		対戦車ライフル		アクション	4	1-3	射撃攻撃5
頭		カンフー		オート	なし	自身	1
腕		合金トランク		ダメージ	0	自身	防御1+爆発無効
胴		写真		オート			自分と名前も思い出せない誰かの写った写真。破壊で狂気点+1
腕		アンデッドガン		アクション	3	1-2	射撃攻撃1＋爆発＋全体攻撃
頭		ボルトヘッド		ジャッジ	1	自身	支援2
頭		スコープ		ジャッジ		自身	支援2(射撃・砲撃のみ)
胴		しっぽ		オート		自身	1
メインクラス		子守唄		オート			射撃のコスト-1、出目-1